

小松島市における港の「食」を要 とした市民行政協働による持続的 まちづくり推進調査 事業報告



特定非営利活動法人
港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま

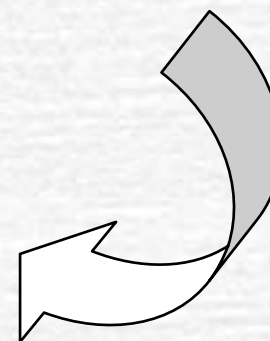
1. 調査の概要

- ・調査対象地の概要
- ・調査対象地域位置図
- ・活動のテーマ
- ・取り組み
- ・実施概要

調査対象地の概要

- 小松島市人口 43,110人
- 世帯数 16,260世帯
- 神田瀬川河口の小松島本港地区を中心
に発展し4万トン級岸壁を含む面積
64haを有する港町

調査対象地域位置図



活動のテーマ

市民・行政の協働による、**港の「食」を要とした【持続的まちづくり活動】**の展開

まちづくり分野と**【教育分野とのWIN&WIN型活動連携】**

取り組み

活々物産産直市の継続社会実験

【持続活動】

みなとカフェ魅力度向上社会実験

【持続活動】

win & win型ボランティア制度試行実験

【教育連携】

実施概要

活々物産産直市

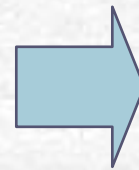
- ・ 継続的社会実験
- ・ 本別町との交流

みなとカフェ

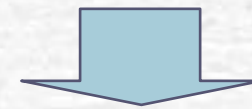
- ・ 新メニューづくり
ワークショップ
- ・ 新メニューの開発
- ・ 講習参加

ボランティア制度

- ・ 仕組みづくり
- ・ 試行実験



関係者ヒアリング アンケート調査



都市再生における 持続的活動知見の 抽出・考察

2. 実施報告

- ・活々物産産直市
- ・みなとカフェ
- ・ボランティア制度

活々物産産直市の 継続社会実験

活々産直市の実施

小松島市内を中心とする一般市民による産直市への出店が実施された

(結果：出店者数 35名 + 2グループ)



産直市関係者意向調査

顧客アンケートの実施

：平成17年1月～（94名）

出店者ヒアリング及びアンケートの

実施：平成17年2月8日（15名）

本別町との物産交流

小松島市の姉妹都市である北海道本別町の主婦を中心とした活動グループとの交流

本別町特産品の「豆類」を物産市で紹介

みなとカフェ魅力度向上 社会実験

みなとカフェワークショップ

計3回開催（平成16年10月～）

参加者：18名

ゲストシェフ・市民・市内の高校生・NPO関係者によりみなとカフェの新メニューについて検討



☞ カフェ講習会参加

「エコ・コミュニティ・レストラン」

プロジェクト研修会

平成16年12月12日 カフェ担当者1名と、
NPO理事1名が参加

全国の先進事例、メニューづくりの視点などを学
ぶことで、カフェ担当者の意識高揚に繋がった



みなとカフェ関係者意向調査

試食アンケートの実施

平成17年1月9日(50名)

関係者ヒアリングの実施

平成17年1月31日(5名)



みなとカフェ新メニュー開発

ワークショップ、アンケート、ヒアリングを
基に新メニューを開発し、販売を行った

【みなとカフェ新メニュー開発】

【義経寿司】と【弁慶味噌汁】

義経の優美さを表現して、扇形に盛り付けた
ちらし寿司

弁慶のたくましさを表現して、大きいお椀に盛り付けられた【その日に獲れる魚貝類】を使用した味噌汁



【あんシフォン～静御前～】

小松島市に1軒だけ残った徳島県南唯一のあんこ屋さんのあんこを使用したシフォンケーキ：

静御前の温もりをシフォンケーキに託し、しなやかさをパウダーシュガーで表現した
(コーヒーや紅茶とのセットメニューとして好評)



【神田茶あんみつ～あんみつの古里・ 神田の香り】

小松島港に注ぎ込む勝浦川の上流域で昔ながらの製法により製造されている上勝晩茶を使用し海からとれる寒天とのコラボレートにより、小松島のあんこを使ったあんみつが生まれた。

また「あんみつ」は、徳島県出身の伴人・橋本夢道が考案されたと言われている。



WIN&WIN型ボランティア 制度試行実験

☛ ボランティア認証登録制度の仕組みづくり

ボランティア認証登録制度の実施要領および推薦要領の作成を行った

☛ ボランティア認証登録制度の意向調査

ボランティア認証登録制度の仕組みづくりにあたって、今回の試行実験の対象校である小松島高校を対象にヒアリング調査を行った（3回）

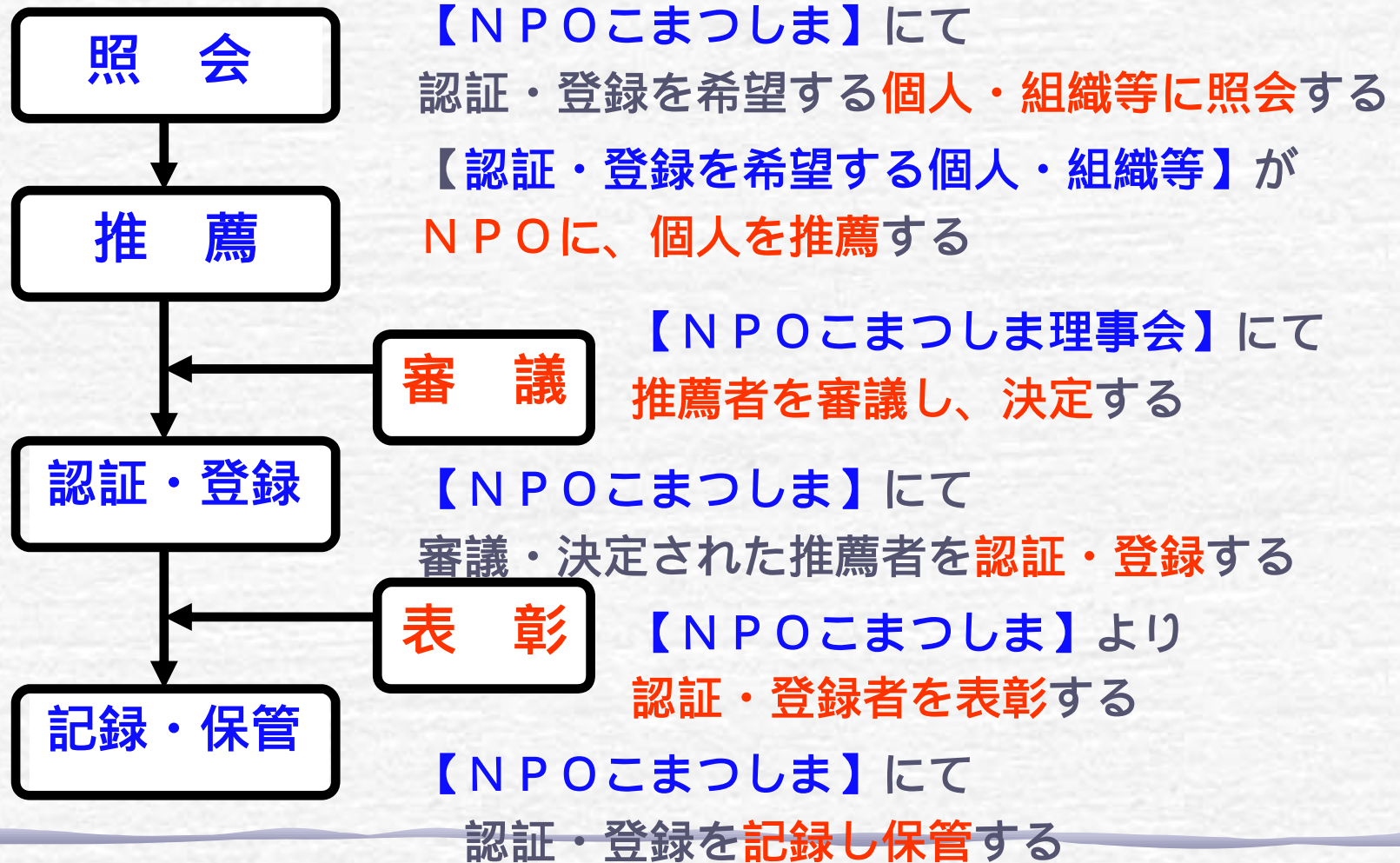
☛ ボランティア認証登録の対象者の表彰

小松島港およびその周辺のボランティア活動に積極的に参加した小松島高校生22名をNPOが表彰した

【ボランティア認証登録表彰】の様子



ボランティア制度の仕組み概要



3 . 成果と今後の展開

- ・本調査の成果等
- ・今後の課題と取り組み

本調査の成果等

- 「産直市が継続できた
- 「みなとカフェの新メニュー開発等による新しい連携や市民参加のあり方が展開された
- 「それに伴う訪問者の増大による港情緒の復活等に期待できた

● 小松島高校との連携により、みな
とまちづくりへの高校生の参加が
得られた

● それに伴うボランティア認証登録
制度が整備された

今後の課題と取り組み

【港の食】

- ・産直市
- ・みなとカフェ

屋外ブースの向き等から生じる閉鎖性が明らかにされた



行政・NPO等による仕掛けづくりにとどまらず、近隣商業者の参加を促し、港周辺の経済効果にも寄与する検討が必要である

港を取り巻く環境を活かし、近隣商業者等と連携した【食】の取り組みを検討していく必要がある

【ボランティア
制度】

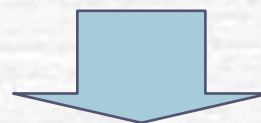
試行実験のため、制度適用の対
象校が小松島高校 1 校に限定され
た



今後、小松島高校を含む小松島
市内の学校関係者・教育分野との
連携を深める必要がある

【共通】

みなとオアシスとしての位置付けと活用が必要である



「みなとオアシス」登録を今後のみなとまちづくり活動に有効活用する

住民・行政・教育関係者・専門家等による、みなとまちづくりの基盤を整える